

テーマ型共創フロント 募集シート

■提案の募集内容について

募集テーマ	「もしも手帳」を市民がより使いやすく、親しみやすくすることで、広く「人生会議」の普及啓発を行うための提案
提案の募集対象 (テーマに関連する 事業等の概要)	「人生会議」とは、もしもの時のために、自分自身の医療やケアの希望を事前に考え、家族や医療・介護関係者と話し合い、共有することで、最期まで自分らしい人生を送るための取り組みのことです。「人生会議」を行う市民が増えることを目指して、「人生会議」のきっかけづくりとなるツール「もしも手帳」をより活用しやすく、親しみある普及啓発媒体とするための提案を募集します。 (もしも手帳の概要) https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/zaitaku/acp/moshimo2021.html
提案を募集する 背景・課題	「人生会議」を行うことで、自分らしく豊かな人生を過ごせることや、望まない救急搬送を回避できることにつながります。一方、令和5年度に実施した調査では、もしものときの医療やケアについて考えたことのある市民は約5割に留まっています。 横浜市では「人生会議」のきっかけづくりとして「もしも手帳」を作成しており、「もしも手帳」を知っている市民は、7割以上がもしものときの医療やケアについて考えたことがあり、「もしも手帳」が「人生会議」のきっかけとして効果があることが分かっています。
課題によって ①誰が ②どう困るのか	② 市民が ②自らが望む医療やケアを受けられず、自分らしい人生を過ごせなくなる可能性が高まる
課題に対して横浜市 が現在どう関わって いるのか	「人生会議」の普及啓発を図るため、区役所・消防局・医療機関・薬局・地域ケアプラザ等と連携を深めながら、普及啓発ツールである「もしも手帳」を活用した市民啓発に取り組んでいます。 なお、連携協定を締結した企業の店舗においても普及啓発を行っています。 https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/iryo/2024/moshimo.html
募集対象 ※チェックのついたものが、今回の募集の対象です	☒ 公民連携の提案及び連携事業者の募集 ⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。 ☐ 公民連携の提案のみの募集 ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。
横浜市が希望する 提案について	・「もしも手帳」のデジタル化（アプリ化）に関する提案 ・企業内での「もしも手帳」「人生会議」の普及啓発に関する提案 ・「もしも手帳」の配布に関する提案 ・「もしも手帳」に親しみを持ってもらうための提案 など
想定する提案の例	・市民がより身近に簡単に「人生会議」を実践できる「もしも手帳」アプリの開発（WEBアプリ、スマホ用アプリ） ・高齢者の見守りアプリに「もしも手帳」機能を搭載 ・コミュニケーションアプリに「もしも手帳」機能を搭載 ・もしものときについて考えるタイミングを捉えた「もしも手帳」の配布 ・企業内のセカンドライフセミナーで「人生会議」の普及啓発 ・「もしも手帳」に親しみを持ってもらうためのキャラクターを用いた普及啓発 など

■提案にあたっての条件

募集期間	令和 8 年 9 月 4 日（金）～令和 8 年 9 月 30 日（水）
実施予定時期	令和 8 年 10 月 ～
提案の形式	様式 3 の【提案シート】をご提出ください。 ※提案シートその他、企画書や関連資料の添付も可です
提案の選定方法 ※チェックのある方法で 選定します	☒ 特に選定をしません（提案内容が妥当であれば採用数を絞込まない） ☐ 審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞込む） ☐ 提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 ☐ その他（ ）
横浜市から提供できるメリット	「もしも手帳」の無償提供、広報（記者発表など）
横浜市の予算措置の可能性	あり
その他の留意点	
提案のお申込み先・ 内容についての お問い合わせ先 （事業所管部署）	横浜市 医療局 地域医療課 在宅医療連携係 TEL 045-671-2444 FAX 045-664-3851 E-mail ir-zaitakuiryo@city.yokohama.lg.jp